令和5年度　第10回日展　大臣賞受賞者一覧

内閣総理大臣賞

	作品名	作家名	本名	資格	授賞理由
日本画	懐（かい）	西田眞人（にしだまさと）		会員	橋より眺めたイギリスの教会であろう、また中央の人物は本人だろうか。作者の気持はもとより見るものに教会への赴きや優しさ静けさをも与えてくれる。制作工程も見事で深い群青で描いたことによりその場の空気までも感じとれる力作であった。ライフワークに北海道から沖縄まで一の宮を訪ね制作していると聞く。着実に制作している姿が目に浮かび頼もしい。
洋　画	Smorzando（スモルツァンド）	西房浩二（にしふさこうじ）		会員・審査員	物の描写力は群をぬいてすばらしいと思う。この点が評価されたが、背景の処理などこの作家なら必ず克服できると思う。大臣賞にふさわしい作品である。

文部科学大臣賞

	作品名	作家名	本名	資格	授賞理由
彫　刻	青春の詩（せいしゅんのうた）「祈（いの）り」	嶋畑　貢（しまはた　みつぐ）		会員	温和なポーズの立像だが、何故か目を引く作品で、“匂い立つ造形”としてそのユニークさが評価されたと思う。テラコッタ風の着色、やや前方に目を向けた美しいプロポーション、バランスのとれた造形感覚が良く、素直な表現は、作者の思いをそのまま潔く伝えてくれる優作である。
工芸美術	宙船（そらふね）	河野榮一（かわのえいいち）		会員	宇宙空間を想起させるたっぷりとした黒色の陶、そこに伸びやかな銀彩で描かれた煌めく銀河。作者の幼い頃からの宇宙への憧れが、豊かな造形美へと結実した作品である。 陶芸の技を極めながら、独自のフォルムを追求したこの作品は、宇宙への旅に誘うように、見る人のイメージを膨らませてくれる。
書	僧善住詩（そうぜんじゅうし）	有岡郊崖（ありおかしゅんがい）	俊高（としたか）	会員	全体的に筆力と変化に富み、豊かな表現に成功している。それぞれの文字が、筆圧・筆速を自在にコントロールして複雑な表情を見せるのみならず、文字の大小や傾きを工夫して、白地の美しい行間を生み出す章法も見事である。冒頭より落款に至るまで、リズムの良い筆運びを追うのが楽しい。現代的な作品に仕上っている。

令和5年度　第10回日展　東京都知事賞受賞者一覧

東京都知事賞

	作品名	作家名	本名	資格	授賞理由
日本画	地球(ちきゅう)のドラマ	古澤洋子(ふるさわようこ)		会員	宇宙と地球を前にすれば人間の営みとは何とちっぽけなものか。地層の時間の流れとその圧倒的な大きさに、人間はしがみつくように生きている。それを天空からいつもと変わらぬ姿で月が見降している。古来美術のテーマの一つである有限と無限の対比が盛り込まれている。 画面の主役は地層の横縞で、縦に走る岩のひだが画面に厚みを生んでいる。各地層はしわを寄せたマチエールや墨流しの表現など様々な技巧が用いられ、画家の技術の確かさを感じさせる。
洋　画	影(かげ)	佐渡一清(さわたりかずきよ)		会員	たぐいまれなデッサン力を土台にしっかりした油彩画の筆づかいである。 高い技術で単純化された構図と色彩が明快で、詩的な情感ある作品である。
彫　刻	わ	九後稔(くごみのる)		会員	目を閉じて平和を祈る女性像である。作品名は「わ」。英語で「peace」（平和）と添えられている。平和の祭典オリンピアードにちなむ女性像に、今を生きる誰もが願う「平和への祈り」がこめられている。造形的にもどの角度から見てもパースペクティブ（奥行）の深さがあり秀逸な彫刻表現となっている。
工芸美術	月(つき)の器(うつわ)・想日(そうじつ)	武腰一憲(たけごしかずのり)		会員	シルクロードのオアシス都市で出会ったという古老。真っ青な空間にイスラムの模様、筋雲のかかった天上の月。「月の器・想日」と題された本作品は、古老の遥かな視線に感じた郷愁から制作したという、完成度の高い重厚な磁器作品。シルクロードブームは、日本とアジアの交流の歴史と時空を大きく広げ、いまも創作の未来を刺激している。
書	風華(かぜはな)	田頭一舟(たかしらいっしゅう)	節夫(せつお)	会員	仮名のもつ優美な造形に、各行の響き合い、それぞれの行のゆらぎの変化にも工夫が加えられて、余白の美しい作品となっている。加えて、装飾料紙と筆線が巧くからみ合う。色彩のある部分には墨量を多く、白い部分には渇筆を巧妙に配した技法もすぐれ、仮名作品の横披作の要諦にかなう作品。筆線も厳しさの中に仮名の優美な連綿も見事。賞にふさわしい傑作といえる。

令和5年度　第10回日展　日展会員賞受賞者一覧

日展会員賞

	作品名	作家名	本名	資格	授賞理由
日本画	泣(な)く雨(あめ)	川嶋(かわしま)　渉(わたる)		会員･審査員	何よりも特筆すべきは、その表現力の高さと強さである。雨は、白い直線によって表わされるだけでなく、画面全体に大胆に垂らされた顔料によっても表現されている。その二つがあいまって悲しみの感情が見事に伝わってくる作品となっている。雨の白い線も決して多くはなく抑制されており、それもまた感情の表現を高めていよう。
洋　画	小(ちい)さな冬景色(ふゆげしき)	浅見(あさみ)文紀(ふみのり)		会員･審査員	ダンボール、枯れ枝、鏡等、異質なモチーフを組み合わせて、緻密な描写で不思議なシュール的な世界を表現している。現代の新しい静物画と言える秀作である。
彫　刻	singing figure V(シンギング フィギュア)	宮坂(みやさか)慎司(しんじ)		会員	両手を上げて歌う女性像である。その姿をトルソという形式（胴体を中心とした表現）で表わし、体幹のみで人体の躍動感を実現している。衣文（えもん）の描写も秀れている。上半身の衣文の直線と下半身の衣文の曲線との対比がトルソをより大きく見せている。量塊性（りょうかいせい）の豊かな人体表現として際立っている。
工芸美術	夏(なつ)が征(ゆ)く	西片(にしかた)　正(ただし)		会員	ふるさと弥彦山の麓の暑い夏の記憶を表現すべく造形した作品である。夜の街灯には昆虫達が迷い込んでいるその情景を果実の形態の中に込めた叙情感漂う作品に仕上げている。 工法として1.5mmの銅板を用い、打出し。片切彫りの技法で成形し、銀仕上げの酸化被膜着色を施した力作である。
書	韋應物詩(いおうぶつのし)	森嶋隆鳳(もりしま りゅうほう)	隆一(りゅういち)	会員･審査員	一見して重厚で強靭な筆線に引きつけられ、長年にわたる古典の習熟が知られる作品である。文字の大小や筆速・潤渇の変化によって、躍動的な美しさを創出しているが、あくまで自然で、作意を感じさせないところが好ましく、韋應物の静謐な詩意にふさわしい表現となっている。